

日本建築学会関東支部第 24 回提案競技

「美しいまちをつくる、むらをつくる」

まちなか再生に取り組む伊勢崎市の未来を創造する

ー地域資源を織りなし、回遊、賑わいを創出するー

「建築・まちづくり提案の部」

主催：日本建築学会関東支部

「絵画コンクールの部」

共催：伊勢崎市 伊勢崎市教育委員会 日本建築学会関東支部群馬支所

後援：伊勢崎商工会議所 伊勢崎市観光物産協会 上毛新聞社

いせさき FM 群馬県建築士事務所協会 群馬建築士会

日本建築家協会関東甲信越支部群馬地域会

趣旨：実在の市街地を対象に、今後の「まち」をテーマに建築・都市の専門家、地域に暮らす子どもから大人までが参加する提案競技です。たてものやまちのことを皆で考え未来を創造する機会とします。以下の2部門において提案や作品を幅広く募集いたします。

今回は伊勢崎市の市街地を対象として、日本建築学会関東支部と伊勢崎市、各種団体が協力し、公開審査(建築・まちづくり提案の部のみ)、表彰式、作品展示を行う予定です。

① 「建築・まちづくり提案の部」 建築を学ぶ学生、実務者、まちづくりに関わる方々を対象

② 「絵画コンクールの部」 小中学生を対象

① 「建築・まちづくり提案の部」

**課題：建物整備と屋外公共空間の活用を組み合わせ
たまちなか活性化の提案**

群馬県伊勢崎市は明治時代から、全国に知られる繊維産業の町として発達した。伊勢崎銘仙は明治から昭和の時代に人気を博し、大正から昭和初期にかけて、生産量は全国の半分を占めるまでに至った。戦後の洋装化によって需要が減り、産業として衰退した。戦後は繊維産業の衰退から工業誘致を推進し、県内有数の活力ある産業都市に成長した。こうしたなかで、市の中心市街地(まちなか)は、戦災により街並みの多くを焼失した。国の復興事業は実現しなかったが、鉄道の玄関口である伊勢崎駅と道路交通の要衝という地の利を得て、周辺地域からも人々を吸引する古くからの商業集積地として発展してきた。近年ではバイパス道路の整備等に伴い、幹線道路沿いへ大規模小売店や飲食店などの商業集積が移行し、

これに地元商工業者の高齢化に伴う廃業や人口減少も相まって、まちなかの空洞化は進んでいる状況である。

そのような経緯を踏まえ、まちなかでは様々な事業や計画の立案が実施されている。JR伊勢崎駅周辺では土地区画整理事業により、駅から南の繁華街(県道2号沿いのエリア)へ延びるシンボルロードが形成される。その沿道は換地が進み、将来的に魅力的な都市機能や居住の誘導が期待される(現時点では空地が多く、具体的な事業者等は決まっていない状況である)。併せて、良好なまちなみ景観の形成を促すべく、地区計画も定められている。既に整備された駅前広場では、マルシェなどの実施により賑わいづくりが実施されている。加えて、新保健センター・子育て世代包括支援センター(仮称)の整備が予定され、市民のまちなかへの吸引機能、施設利用者のまちなかへの回遊の促進が期待されている。今まさに、伊勢

崎市のまちなかは生まれ変わろうとしている。このような市街地整備を活かし、まちなかの回遊、にぎわいの創出により活性化を図るため、シンボルロード沿いの空地やその他の空地を活用した建物整備、既存建物の活用（空き家・空き店舗を含む）、公共空間（街路の歩道空間や広場）の活用促進が模索されている。

そこで建築・まちづくり提案の部では、JR伊勢崎駅から南に広がるまちなかの活性化に寄与する、まちづくりの提案を募りたい。具体的には、上述の市街地整備などの動向を踏まえ、①新築もしくは既存建物や空き家等の活用による建物整備、②提案する建物の魅力を高める屋外公共空間や空地の活用、双方を組み合わせた賑わいや回遊を創出する提案を募る。

※ ①建物1棟以上と、②公共空間もしくは空地1カ所以上とを提案に含むこと。規模は問わない。
※ 提案する空間整備は常設、仮設を問いません。

対象地域

範囲は中心市街地活性化基本計画区域内から、今回の趣旨を踏まえ、シンボルロード及び、それと交差する県道2号（前橋館林線）を含むエリアとします（図1：対象地域の範囲を参照）。対象に含む公共空間と建物の一例を以下に示します。

□ 公共空間の例

- JR伊勢崎駅南口駅前広場
- 大手町パティオ
- シンボルロードの歩道空間
- 本町有料駐車場（SOAビル東）

□ 空地の例

- シンボルロード沿いの換地エリア
- 大手町パティオ周辺
- iタワー花の森住宅北側（市事業用地）

□ 既存建物の一例

- 駅前インフォメーションセンター
- いせさき明治館
- SOAビル
- 赤石楽舎

- 伊勢崎織物会館（伊勢崎織物協同組合）
- 空き店舗（県道2号線周辺に多数あり）

※ 対象範囲内であれば、上述の公共空間、既存建物以外にも提案に含めても構いません。

【参考】

- 1) [伊勢崎市の伝統産業・伝統工芸](#)
- 2) [伊勢崎市都市立地適正化計画](#)
- 3) [（仮称）伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センター建設基本計画](#)
- 4) [伊勢崎駅周辺地区 地区計画](#)
- 5) [伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備事業に関するサウンディング調査](#)
- 6) [まちなか宝さがし～ We're Treasure Hunters !!～](#)

現地説明会

日時：2023年7月15日(土) 10:00～16:30頃

場所：伊勢崎市地域交流センター赤石楽舎
（駐車場10台、周辺駐車場を利用）

※ 現地説明会に参加希望の方は事前に申込みフォームにて申請のこと（詳細はホームページにて）。
[現地説明会で配布した資料](#)をご希望の方は、日本建築学会関東支部ホームページに掲載します。

※ 午前中は伊勢崎市の概要説明後、参加者でまちなかを散策します。昼食後（各自、周辺の飲食店等で済ませて下さい）、午後からは、伊勢崎まちなか活性化支援会議が主催する「令和5年度 いせさき まちなかシンポジウム」にご参加下さい。参考情報：[伊勢崎まちなか活性化支援会議](#)

要求図面など

『提案図面』（A3サイズ、2枚）及び『提案概要書』（A4サイズ、1枚）電子データ

- 1) 着目した現状や計画条件を図や写真等を用いて、わかりやすく説明してください。
- 2) 提案内容を、設計趣旨、図版（ダイアグラム、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、模型写真等）を自由に組み合わせ、表現してください。縮尺明記のこと。必須図面はありません。ただし、

模型、ビデオ等は受け付けません。なお、設計趣旨の概要を 600 字以内の文章にまとめ、10 ポイント以上の文字で図面中に記入してください。

- 3) 『提案図面』は A3 サイズ、2 枚 (297 mm×420 mm、サイズ厳守、変形不可、2 枚つなぎ合わせることは不可) 以内。
- 4) 『提案概要書』は A4 サイズ 1 枚 (縦使い、文字は 10 ポイント以上) に図版数点 (任意) と提案趣旨をレイアウトしたもの。
- 5) 一次審査通過者は、二次審査 (公開審査) にてパワーポイント等を利用し、当日プレゼンテーションを行って頂きます。

本提案競技に関しては伊勢崎市へ直接の問い合わせをすることは、ご遠慮ください。

注意事項

- 1) 『提案図面』及び『提案概要書』には、応募者の氏名、所属等がわかるようなものを記入しないで下さい。
- 2) 他の設計競技等と二重応募になる作品、あるいは既に発表された作品は応募できません。
- 3) 応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることが必須です。

応募資格

建築を学ぶ学生、実務者、まちづくりに関わる方々など。ただし、一次審査を通過した二次審査へ進出するものは日本建築学会の個人会員 (正会員、準会員) とします。12 月 1 日 (金) までに所定の入会手続き完了してない応募者は二次審査へ進出できません。なお、入会資格は建築に関する学識・経験のある個人となっています。詳しくは日本建築学会関東支部ホームページをご確認ください。共同制作者も同様です。

提供資料

現地説明会で配布した資料は、日本建築学会関東支部ホームページに掲載します。伊勢崎市、共催者への直接の資料請求はできませんので、ご注意ください。

作品提出

- 1) 提案図面 (A3 サイズ・2 枚)
 - 2) 提案概要書 (A4 サイズ・1 枚)
 - 3) **応募申込書** (A4 サイズ・1 枚、必須事項: 代表者・共同制作者氏名・日本建築学会会員の方は会員種別・会員番号・所属、代表者連絡先住所・電話番号・E-mail アドレス)
 - 4) 電子データ (CD-R 等、提案図面・提案概要書・応募申込書の PDF ファイルデータを記録)
- 以上を一括して封筒に入れ、厳封の上で提出してください。

提出方法

- 1) 郵送・宅配便または持参とします。なお、郵便等で提出される方で、受領通知が必要な方は、受領通知用返信はがき (郵便はがきに代表者住所、氏名を記入のこと) を同封してください。
- 2) 応募作品は 1 案ごとに別々に提出してください。
- 3) 応募締切は 11 月 1 日 (水) 17 時、持参の場合は平日 10 時～17 時に受け付けます。(土・日曜、祝日は受け付けません)・郵送等の場合は締切日時着とします。
- 4) 提出先: 後述の問い合わせ・作品応募先へ提出

審査方法および発表

- 1) 第一次審査 (非公開)
審査委員会にて提案図面等を審査し、応募案の中から第二次審査へ進出するノミネート作品を決定します。
- 2) 第二次審査 (公開)
ノミネート者によるプレゼンテーションを実施し、同日審査を行い、各賞を決定して発表します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません。また、PC プロジェクターは会場にご用意しますが、コンピューターなどは各自でご用意ください。

日 時: 2023 年 12 月 10 日 (日) 10:00～

会 場: 伊勢崎市地域交流センター赤石楽舎
群馬県伊勢崎市曲輪町 28-24

プログラム

10:00～ ノミネート者によるプレゼンテーション
(説明時間 5 分、質疑時間 5 分)

13:30～ 審査・審査結果発表

15:00～ 表彰式

3) 入賞者発表

- ・ 第一次審査の結果：11 月 30 日(木)までに日本建築学会関東支部ホームページに公表、第二次審査に進出するノミネート者には個別に代表者に通知します。
- ・ 第二次審査の結果は、第二次審査会場にて発表します。
- ・ 入賞作品、審査講評は後日、日本建築学会関東支部ホームページに発表します。

4) 入賞作品展示

- ・ 伊勢崎市役所 東館 1 階 市民ホール
12 月 14 日(木) ～ 12 月 24 日(日)
建築会館ギャラリー (東京都港区芝 5-26-20)
※ 日程は後日決定

審査委員会

特別審査委員：臂 泰雄 (伊勢崎市長)

審査委員長：藤村 龍至 (東京藝術大学 准教授、RFA 主宰)

審査委員：宮崎 晃吉 (HAGI STUDIO 代表取締役)

審査委員：栗原 昭矩 (いせさき街並み研究会)

審査委員：秋山 麻紀 (まきばプロジェクト)

審査委員：辛島 一樹 (前橋工科大学 准教授)

賞

最優秀賞 1 点 (賞状、副賞 20 万円)

特別賞 1 点 (賞状、副賞 10 万円)

優秀賞 3 点 (賞状、副賞 5 万円)

佳作 4 点以内 (賞状、記念品)

なお、入賞作品の提案につきましては、今後の伊勢崎市のまちづくりの参考とさせていただきますが、実現化については未定です。

著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。ただし、主催者及び後援者が、この事業の主旨に即して入賞作品を日本建築学会誌またはホームページに掲載、図書の出版、展示等の公表のために用いる場合は、入賞者及び後援者が『提出図面』および『提案概要書』の全体あるいは部分を利用することについて承諾することを前提とします。

現地調査に当たり厳重注意事項

- ・ 許可無く敷地や建物に立ち入らないこと。
- ・ 写真を撮影する場合は、財産権 著作権 肖像権等十分配慮すること。

その他

- ・ 応募作品および関係書類は返却しませんので、作品の控えやデータは必ず保管してください。
- ・ 審査に関する質疑は一切受け付けません。
- ・ 応募規定に違反した場合は受賞を取り消すことがあります。特に提出図面における表記には十分注意し、著作権等に抵触しないように作成、確認すること。
- ・ その他、詳細は日本建築学会関東支部ホームページに掲載します。

問い合わせ先・作品応募先

日本建築学会関東支部「提案競技」係

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20

電話：03-3456-2050

E-mail：kanto@aij.or.jp

<http://kanto.aij.or.jp>

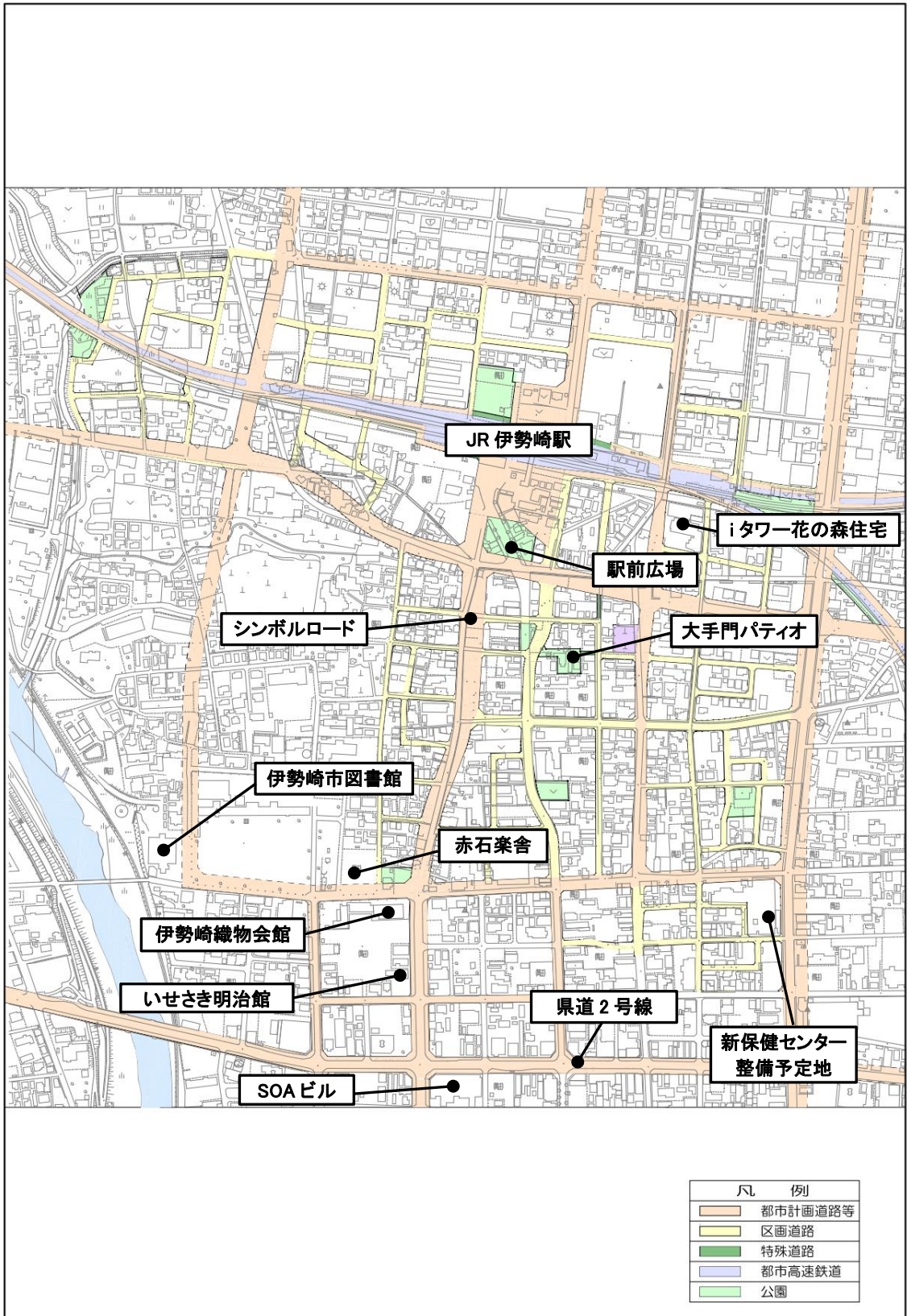


図1：対象地域の範囲（伊勢崎市提供資料に追記）

② 「絵画コンクールの部」

テーマ：「わたしたちのまち “いせさき”」

みなさんが住んでいる伊勢崎市内でお気に入りの場所、おすすめの場所などを絵に描いて送って下さい。また、伊勢崎駅の南側は、これから新しいまちに生まれ変わろうとしています。みなさんが大人になったとき、どのようなまちになってほしいですか？みなさんが大人になっても住んでいたいと思うようなまちを想像して描いてくれても良いです。

なお、審査は 小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学生の部の 4 部門でそれぞれ行います。

対象地域

伊勢崎市全域

応募資格

伊勢崎市内に在住の小中学生、四ツ葉学園中等教育学校の生徒

提出作品

- ・ 八つ切りサイズの大きさの画用紙(392mm×271mm)に、絵を描いてください。
- ・ 縦・横・使用する画材は自由です。パソコンでの製作は不可とします。
- ・ 描いた面に学校やあなたの名前を書かないでください。
- ・ 応募用紙に学校名、学年、氏名、絵のテーマなどを記入して、作品の裏面に貼り付けて下さい。

審査委員会

特別審査委員：臂 泰雄（伊勢崎市長）

審査委員長：三好 賢治（伊勢崎市教育委員会教育長）

審査委員：伊勢崎市教育委員会推薦者

審査委員：日本建築学会関東支部群馬支所推薦者

賞

市長賞 1点（賞状、副賞 5千円の図書カード）

教育長賞 各部 1点（賞状、副賞 3千円の図書カード）

優秀賞 各部 2点（賞状、副賞 2千円の図書カード）

入選 各部 3点（賞状、副賞 1千円の図書カード）

提出方法

1) 応募締切：2023年8月31日(木)

2) 提出先：各所属学校に提出

3) 入賞者発表：11月下旬

入賞者は学校を通じて案内します。また、日本建築学会関東支部ホームページに掲載します(12月予定)。

4) 表彰式

日時：2023年12月10日(日) 15:00～

会場：伊勢崎市地域交流センター赤石楽舎

群馬県伊勢崎市曲輪町 28-24

5) 入賞作品展示

・ 伊勢崎市役所 東館 1階 市民ホール

12月14日(木)～12月24日(日)

建築会館ギャラリー（東京都港区芝 5-26-20）

※ 日程は後日決定

著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。ただし、主催者及び後援者が、この事業の主旨に即して入賞作品を日本建築学会誌またはホームページに掲載、図書の出版、展示等の公表のために用いる場合は、入賞者及び後援者が絵画の全体あるいは部分を利用することについて承諾することを前提とします。

その他

- ・ 応募作品は返却いたします。
- ・ 入選作品は展示会終了後の返却となります。

問い合わせ先

日本建築学会関東支部群馬支所

群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1

前橋工科大学内

E-mail：aijgunma@maebashi-it.ac.jp